

産業廃棄物処理業における交通事故（道路）災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	3～4	ごみの運搬回収のため、トラックで走行中に、中央よりやや右側を走行し、少しよそ見をした時に突出している柱に衝突し負傷した。	66	10 ～ 29
1	5～6	道路にてゴミを回収する為停車した際、後方から追い抜きをしようとした相手方4t車の左側面と自車右側面に追突された。	51	50 ～ 99
2	14～15	資源回収場所から次の回収場所へ車で向かう途中、側道から右折しようとしたところ、右から直進してきた車と衝突し負傷した（頸椎・腰椎捻挫、頭部挫傷）。	33	1～ 9
3	14～15	移動のため、収集車（4tトラック）を運転中、信号を北に抜けようと、最後尾にて信号待ちの停車をしていたところ、後ろから軽トラックに追突された。ブレーキ痕が無く、ほとんどノーブレーキといえるスピードで追突されたためか、衝撃で体が強く揺すられた。	41	30 ～ 49
4	5～6	進行方向が青で左折時、ふくらみ過ぎて信号待ちの相手乗用車に接触した後、民家のブロック塀を突き破り、庭に進入した。	56	10 ～ 29
4	8～9	廃棄物を積んで処分場へ運ぶため自社トラックにて走行中に、右側車線のトレーラーが接近して来て、左にハンドルを切ったときに車が横転した。	22	1～ 9
4	14～ 15	工場へ空缶を運搬中、交差点で信号待ちの大型ダンプカーに追突し、軽トラック前方及び側面を損壊した。損壊したフロントガラス、ハンドル等で頭部顔面、胸部等強打した。	51	1～ 9

5	20～ 21	作業現場にトラックを停めるためトラックの後ろで後退を誘導中、縁石に接触する 為に停止するよう声を発したが停止せず、トラックと縁石の間に左足を挟まれ、左 足膝下を骨折した。	38	100 ～ 299
7	8～9	馬運動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然走り出し引きずられ、左肩部を 負傷した。	42	30 ～ 49
7	13～14	5号車で収集業務中、信号の無い交差点で車と衝突し、首を痛めた。	45	30 ～ 49
9	16～ 17	被災者が、大型貨物自動車を運転し、国道を走行中、緩い右カーブにおいて、降雨 により湿潤した路面にタイヤがスリップし、反対車線にはみ出しそうになり、左に 急ハンドルを切ったところ、制御不能に陥り、そのままガードレールを破り、路外 逸脱したものである。	30	1～ 9
10	14～ 15	交差点において青信号に変わった為、車を直進させたところ、右からの信号無視車 両に追突された。	30	10 ～ 29
11	8～9	路上において、廃棄物回収車にペットボトルを回収作業中、後方より進行してきた 乗用車にはねられ受傷し、救急車で搬送されたものである。	71	10 ～ 29
11	11～ 12	産業廃棄物の収集に向かう途中、高速道路が渋滞していて、停止中に後から追突さ れた。	38	50 ～ 99
11	4～5	カーブを走行中に対向車（20tトラック）がセンターラインを越えて来て運転席部 分に衝突された。その際、事故の衝撃でフロント部分がへこみ身体が挟まった状 態となり全身打撲した。	38	10 ～ 29
12	13～14	走行中、突然、軽トラックが飛び出してきて、弊社の塵芥車へ激突してきた。そ の反動で左側のガードパイプへ接触し、そのまま車ごと崖下へ転落した。	35	30 ～

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html